

# 地 域 再 生 計 画

## 1 . 地域再生計画の名称

香南市「太陽と水と緑の豊かな町」水環境再生計画

## 2 . 地域再生計画の作成主体の名称

香南市

## 3 . 地域再生計画の区域

香南市の区域の一部（野市町）

## 4 . 地域再生計画の目標

香南市は、野市町・赤岡町・香我美町・夜須町・吉川村の4町1村が合併し、南部地区は太平洋に面する海岸部と肥沃な平野部が東西に広がり、中部地区は低山が連なる中で里山環境が広がり、北部地域は標高約300～600mの四国山地の一部を構成しており、四国山地を源流にする物部川、香宗川、夜須川などが流れるなど、豊かな水と緑に包まれた地域で、平成18年3月1日に誕生した人口34,262人（平成18年1月30日現在）のまちである。

香南市野市町は、高知県の中東部、高知市より東へ約18km、東経33度43分、北緯33度34分に位置し、東西4.85km、南北6km、総面積22.90k㎡の楕円形を呈示している。東を香南市香我美町、西を一級河川物部川を挟んで高知龍馬空港のある南国市、南を土佐湾に面した香南市赤岡町・吉川町、北を秋葉山系の香美市土佐山田町とそれぞれ境している。

山林地帯は、南西部に上岡山、南東部に平井山、北部に三宝山系があるものの、林野面積は300haで全体の13%に当たり、平地が多い。

歴史は比較的新しく、寛永、天保、萬治年間にかけて藩政の偉人野中兼山が、この不毛の土地を開くため数十年の歳月を費やして開墾事業を進め、上井川、下井川を掘って水利の利便を良くし野市六千石の美田を持つ農村となったものである。

また、野市町の東部を香宗川、中部を烏川、西部を物部川が流れ、水利に恵まれ、土地は肥よくである。

道路は、野市町のほぼ中央を国道 55 号が東西に横断しており、高知市へ車で 30 分、高知龍馬空港へも約 10 分と近い。行政人口は、高知市のベッドタウンとして宅地開発が盛んで 10 年来高知県下トップクラスであることから、近年、人口の増加により、くまなく流れている農業用水の水質汚濁が進行していると考えられ、良好な自然環境を保全していくことが、住民生活の面で欠かせない課題となっている。

このことから、野市町中心部に公共下水道を整備して水質の保全を図ってきた。この取り組みをより一層推進するため、公共下水道の整備と合併浄化槽の設置を行うことにより、「きれいな水で美しい町に」を目標に公共用水域の水質向上を図ることとする。

(目標)

- 1 汚水処理施設整備の促進(汚水処理人口普及率を、現在の 89%から 90.5%に向上)
- 2 公共用水域の水質保全(香宗川合流前地点の水質(BOD)を 2.5mg/L から 2.0mg/L に向上)

## 5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

野市町は、豊かな自然環境を保全するため、河川などの公共用水域の水質汚濁の防止に積極的な役割をはたすため、汚水処理施設の整備は欠かすことのできないものである。そこで汚水処理施設交付金を活用し、公共下水道の整備と浄化槽の設置を一体的に整備を進める。

野市町では、人口が集中する密集地では公共下水道、家屋が点在している地区公共下水道認可区域以外については浄化槽により効率的な処理を行う。現在、公共下水道については平成 15 年 3 月の供用開始し管路整備を進めている。

本計画の実施により公共下水道と浄化槽の計画的・効率的な整備を進め、汚水処理人口普及率を今後 2 年間で 2%引き上げる。

また野市町の河川や水路においては、公共用水域の水質保全を行い快適な生活環境と水の調和のとれたまちづくりを目指す。

なお公共下水道事業については、平成 13 年 3 月 30 日付けで下水道法第 4 条の規定による認可を受けている。

(5-2) 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を完了している。なお、整備箇所等については別添の整備箇所を示した図面による。

- ・ 公共下水道・・・平成 13 年 3 月に事業認可

【事業主体】

香南市

【施設の種類】

公共下水道及び浄化槽（個人設置型）

【事業区域】

公共下水道 香南市野市処理区  
浄化槽（個人設置型） 香南市野市集合処理区（公共下水道区域、農業集落排水区域）以外の区域及び集合処理による整備に時間を要する箇所

【事業期間】

公共下水道 平成17年度～平成18年度  
浄化槽（個人設置型） 平成17年度～平成18年度

【整備量】

公共下水道  
・ 計画人口 6,400人（認可区域）  
・ 管渠 L = 628.4m  
・ 管径 = 150～250mm  
・ 汚水中継ポンプ場 1箇所  
浄化槽 55基

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

- ・ 公共下水道 香南市野市処理区で約200人
- ・ 浄化槽（個人設置型） 香南市野市町全域で約280人

【事業費】

公共下水道	事業費 145,000千円 (うち、交付金 72,500千円) 単独事業費 10,700千円
浄化槽（個人設置型）	事業費 20,172千円 (うち、交付金 6,724千円)
合計	事業費 165,172千円 (うち、交付金 79,224千円) 単独事業費 10,700千円

(5-3) その他の事業

農業集落排水事業

農村の生活環境改善を図り、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水や汚泥を処理し、生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成に資することを目的として実施する。佐古地区・母代寺地区・上岡地区については供用しており、中山田地区については、平成16年1月に供用しており、平成17年度で管路整備（単独事業）完了予定である。

#### 河川美化活動

毎年、物部川・烏川・香宗川他農業用排水路を年二回の住民参加による河川美化活動（ごみ拾い・草刈り）に取り組んでいる。

#### 全国都市再生モデル調査

合併を契機に、合併シナジー効果と地域資源の有効活用によるまちづくり調査を平成17年度で実施する。

## 6．計画期間

平成17年度～平成18年度

## 7．目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を当上下水道課において調査、評価する。また、地域再生計画の進捗状況、整備面積、加入率、水洗化率、整備延長、浄化槽設置基数、関連事業との効果等の状況を把握し、必要に応じて見直しを図る。

なお、汚水処理施設の整備による生活環境が改善されているか、水質検査等を行い、必要に応じ適切に対処する。

## 8．地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし